

I Love Churui

I ♥ ちゅうるい

12.1

2023 Vol. 546



西当の小室洋輔さん
(株式会社タカノファーム) 宅のゆきちちゃん(6歳)

令和5年
元旦



Contents



<http://www.ja-churui.com>

新年挨拶(組合長)	2
新年挨拶(小野寺会長)	3
新年挨拶(青年部長)	
謹賀新年	4
JAって何?~今こそ知っておくべき!農業協同組合~第五回	5
忠類中学校での出前授業&「恵み給食」にて忠類和牛ハンバーグを提供	6
和牛即売会の開催	
青年部十勝大会	7
組合員学習会	
コンプライアンス研修	8
ピックアップ農協職員	
第11回理事会	9
2022を振り返って	10~11
令和4営農年度11月末クミカン実績(JA総計)	12~13
指標値ツールのお知らせ	14~15
普及センター技術情報	16
生乳生産状況表(11月末)	17



年頭のご挨拶



代表理事組合長

蛭原 一治

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様ならびにご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年を健康でお迎えのことと思います。

また、日頃から農協事業運営に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚く感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、一昨年発生した新型コロナウイルスの終息の目処が立たない状況が続いております。

加えて、本年二月にはロシアによるウクライナ侵攻により石油、穀物等の価格が高騰、急激な円安など、農業を営む者にとつては大変厳しい一年でありました。

更に、酪農家は生乳生産の抑制も重なり、今までに経験したことのない一年であり、先が見えない状況が続いております。組合員の皆様ならびにご家族の皆様は、

このような状況のなかで作業にあたる日々が続いているとご推察いたします。

さて、昨年の作況ではありますが、ここ数年続いている異常気象により、主要畑作物はおよそ平年並みの収量であり、青果等についても一部を除いては平年作を得ることができました。

酪農畜産は、消費が停滞する中でさらなる生乳の生産抑制、個体販売価格が下落するなど、酪農畜産経営の皆様におかれましては、日頃の努力が報われない状況が続いております。

本年は、これらの難局を組合員の皆様のご理解とご協力をいただき、一致団結してこれからの酪農畜産が持続していくことを願ひ、今は将来に向けて「しのぐ」時期です。

ラグビーワールドカップ日本代表が掲げていた「ワンチーム」の言葉を今一度思いおこし、皆様とともに乗り越えていきましょう。

また、ここ数年異常気象が続いており、基盤整備ならびに土づくりの重要性は、依然として変わりないことから今後とも進め

てまいります。

最後となりますが、一刻も早い新型コロナウイルスの終息、ロシアによるウクライナ侵攻の終結を願ひ、本年こそは素晴らしい天候に恵まれて、組合員の皆様、ならびにご家族皆様の努力がしっかりと報われる一年でありますよう、心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



令和五年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

会長 小野寺 俊幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しております。ただ、六月の降雹、八月の記録的な大雨、九月の台風により、一部地域、作物によっては、生育作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦い

が長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年、第三十回JA北海道大会の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道五五〇万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われます。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの一日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。



青年部活動を振り返って



J A 忠類青年部
部長 杉坂 一樹

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、日頃より青年部活動に對しましてご理解とご協力を賜り、青年部を代表致しまして心より厚くお礼申し上げます。

また、盟友の皆様方におかれましては、日頃より青年部活動に参加、協力していただき厚く御礼申し上げます。

昨年、忠類神社にて豊作祈願祭を行い、本年豊作となるよう祈願をいたしました。

七月には幕別町役場職員を講師として招き、行政で実施している農業支援についての学習会を行い、知識を深めました。

十月には三年ぶりに開催された忠類どんとこいむら祭りへの出店を行

い、無料バター作り体験とゆり根のバターホイール焼きを販売し、沢山の方に足を運んでいただきました。

十一月には組合員のサポートを目的とした農薬空容器回収も行い、農薬空容器の適切な処理を行いました。

年末には忠類神社で初詣に来る方の足元を優しく照らすためにアイスキャンドルを設置しました。

また、本年度は青年部創立六十周年を迎え、記念事業として視察研修を検討しております。

この視察研修を皮切りに、新型コロナウイルスの影響で自粛していた活動を積極的に行っていきたいと考えています。

このように青年部活動を円滑に遂行できたのも、青年部をはじめご家族の方や各関係機関の皆様方のご理解、ご協力の賜物であり改めて厚く御礼申し上げます。

最後になりますが、今年も天候に恵まれ豊穰の秋を迎えること、皆様が健康でいられることをご祈念申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年

代表理事組合長 蛭原 一治 J A 忠類酪畜協議会 会長 渡邊 靖之

組合長職務代理者 高野 英一 J A 忠類酪農部会 会長 渡邊 靖之

理事 大澤 慶博 忠類和牛改良組合 組合長 蛭原 一

理事 長谷川 旭 J A 忠類畑作協議会 会長 石黒 一郎

理事 佐藤 敏博 J A 忠類甜菜馬鈴薯部会 会長 石黒 一郎

代表監事 谷内田 幸二 J A 忠類大豆部会 会長 常丸 貴史

監事 多田 篤 J A 忠類百合根耕作組合 組合長 大坂 崇士

監事 石黒 和彦 J A 忠類特産物生産組合 組合長 野坂 幸市

参事(理事) 山内 信博 J A 忠類酪農部会 会長 渡邊 靖之

参事(理事) 山根 芳博 J A 忠類酪農部会 会長 渡邊 靖之

管理部長 木村 勝敏 J A 忠類酪農部会 会長 渡邊 靖之

営農部長 福田 隆行 J A 忠類酪農部会 会長 渡邊 靖之

経済部長 渡辺 修二 J A 忠類酪農部会 会長 渡邊 靖之

外職員一同

本年もどうぞよろしく
お願いいたします。
J A 忠類青年部 部長 杉坂 一樹
(敬称は略させていただきます)

JAって何??

〜今こそ知っておくべき! 農業協同組合〜 第五回

⑧ なぜ全農が狙われるのか?

全農グレインという会社をご存知でしょうか? 全農(全国農業協同組合連合会)の子会社

で、米国に拠点を置き、同じく子会社で集荷を行っているCGB社とともにとうもろこしなどの飼料穀物を日本に輸出しています。その船積み施設は米

国最大といわれており、米国から輸出される穀物の約一割(1,350万トン)を取り扱っています。また、非遺伝子

組み換え作物の生産者をCGB社が組織化し、遺伝子組み換え飼料と非遺伝子組み換え飼料を分別流通する体制も整えています。家畜用の配合飼料原料は輸入に依存しており、原料の確保は非常に重要なことなのです。

こうした全農子会社の存在を疎ましく思っているのが、カーギルなどの穀物メジャーといわれる会社やモンサントなどの農薬メーカーです。もし、全農子会社を買収することができれば、穀物メジャーは日本への飼料輸出に対する影響力を高めることができます。

しかし、カーギルやモンサントは全農の子会社を簡単には買収できません。それは親会社が全農という協同組合であり、企業が資本の論理で全農を買収することは一人一票制のもとではほぼ不可能だからです。逆に考えると全農が株式会社になれば買収ができるということになります。

響はJAや組合員にじわじわと押し寄せてくるのです。



全農グレインの巨大な保管サイロ



忠類和牛改良組合 忠類中学校で出前授業の実施&「恵み給食」にて忠類和牛ハンバーグを提供



説明をする西川課長補佐

十一月二十五日（金）に、忠類和牛改良組合は、忠類中学校の「総合的な学習」において、全校生徒に対して和牛の出前授業と「まくべつの恵み給食」として和牛ハンバーグの提供を行いました。



積極的に質問をする生徒たち

授業内容は、体育館にてスライドを使った座学形式の学習を一時限分行いました。講師は事務局である西川生産販売課課長補佐が授業を行いました。はじめに、牛の種類や特徴など大まかな説明から行い、忠類和牛の肥育を行っている「（農）ファーストブリングアップ蛭」の農場を例として、和牛が枝肉になるまでの流れや、枝肉の格付け等の説明を行いました。



当日の献立メニュー

また、翌日に行われる即売会のお知らせも合わせて行い、忠類中学校の全校生徒に対して、「和牛ハンバーグ一個無料引換券」を配布しました。講師に対して生徒から積極的に質問もあり、忠類和牛についての関心がさらに深まったのではないかと思います。



和牛ハンバーグを食べる生徒たち

授業が終了した後、忠類中学校代表の生徒は、「国産牛と和牛の違いを、ちゃんとお母さんに伝えたいと思った。ラベルの標記を意識してこれからはお肉を購入したい。」と述べていました。その日の給食には、幕別産食材をふんだんに使用した「まくべつの恵み給食」として、忠類和牛ハンバーグを提供しました。生徒たちは、皆おいしそうに忠類和牛ハンバーグを食べていました。

忠類和牛改良組合 忠類和牛即売会を開催

十一月二十六日（土）に忠類和牛改良組合により、JA忠類駐車場裏にて、忠類和牛即売会が開催されました。

販売開始は十時からでしたが、開店前から多くのお客さんが列に並んでいました。

今回の即売会で販売された商品は、ヒレステーキ、サーロイン、リブロース、モモさいころステーキ、ハンバーグ、ローストビーフ、特上カルビ、バラ焼肉、肩ロースすき焼き、モモすき焼き、バラすき焼きの十一種類でした。

また、前日に行われた忠類中学校の出前授業にて即売会で利用できる「和牛ハンバーグ一個引換券」が配られており、忠類中学校の生徒も引換券を持って即売会に訪れていました。

十一時頃には、ほぼすべての商品が売り切れとなり、即売会は大盛況となりました。



酪農部会講演
酪農家応援企画

「上手に使うスキムミルク」
高カルシウム・高タンパク質という
特長のスキムミルクを上手に「食」
に取り入れましょう。
料理講座を開催します



—教える人—
井田寿美恵（フードマイスター）
※勉強中の身ですが…
詳しい案内は後日
お知らせします。



第四十七回JA十勝青年部大会

十一月二十五日（金）にホテル日航ノースランド帯広で第四十七回JA十勝青年部大会が開催され、忠類からは杉坂部長・渡邊副部長の計二名が参加しました。

本年は三年ぶりの現地での開催となり、各単組からも多くの盟友が参加していました。

本年のJA青年部の活動実績発表は大樹町、新得町、十勝池田町、中札内、ひろおの五単組が発表をしました。

本年の忠類からの出場はありませんでしたが、参加した部員はそれぞれの主張に対して真剣に耳を傾けていました。

地域の農業の果たす役割に対する消費者の理解促進に向け、農業をPRする「動画で発信！農の魅力」では残念ながら人賞することはできませんでした。

また、消費者交流から次世代の十勝農業を担う人材育成を目的とした「とちかち農業・絆プロ

ジェクト」の実績報告において、内藤部員が二名の学生を受け入れており、他の盟友同様に積極的に交流する様子が挙げられていました。





組合員農業経営研修会開催

十一月二十五日（金）に農協二階研修室にて農業経営研修会を開催致しました。

日本政策金融公庫の地域連携支援事業の取組の一環で、農業経営の法人化・事業承継における課題解決策の一助として、税理士法人小島会計の代表社員である小島拓也氏を講師としてお招きしました。

講演の内容としては、北海道農業の現状と担い手の動向から、これからの農業施策の方向性、主題である法人化・事業承継について実際の事例等を交え、ご説明をいただきました。



講師の小島拓也氏

また、終了後のアンケートでは、多くの方から好評の声が寄せられ、充実した研修会となりました。
今後もこのような研修会を開催して参ります、また皆様から研修テーマ等のご要望がありましたら経営課職員までご助言を賜りますようお願いいたします。



令和四年度コンプライアンス研修会開催

十一月十八日（金）、JA忠類研修室において、JA北海道中央会帯広支所主幹の大関翔太郎氏を講師に招き、コンプライアンス研修会を開催しました。

本年度は、JAグループ北海道での不祥事ゼロ運動の三ヶ年取組みの意識を高め、ヘルプラインの適正運用、事務ミス報告制度の運用、活力ある職場づくりを中心に行われました。

特に事務ミス報告では、軽微な内容も含め件数が多い中、日常風通しの良い職場風土づくりで隠蔽しない、正直に報告することや、再発防止策の取組み事



講師の大関氏

例が紹介されました。
また、本日の研修会に併せて、個人情報保護と情報セキュリティに関する研修も行い、重要情報の保護は、企業・組織の社会的責任であることを、役員一人ひとりが再認識しました。





※撮影のため一時的にマスクを外しております

ピックアップ 農協職員

PICK UP!



【名前】

岡田 乃映（おかだのえ）

【所属部署・担当】

金融部 金融共済課 貯金担当

【入組年】

令和三年四月

【趣味・特技】

音楽鑑賞・料理

【近況】

成人式の前撮りに行きました。

【これからの夢や目標】

麻雀の役が分かるようになりたいです。

【皆様へ一言】

今年で入組して三年目になります。迅速で丁寧な仕事を心がけてまいりますので、よろしくお願いたします。

第十一回 理事会

開催日 令和四年十一月二十八日

付議事項

- 議案第一号 令和五営農年度 営農懇談会の開催について
- 議案第二号 令和五営農年度 営農基本方針の策定と諸対策について
- 議案第三号 令和五営農年度 営農計画書の審査方針及び基準について
- 議案第四号 令和五営農年度 営農計画書策定要領の制定と協議日程について
- 議案第五号 令和五営農年度「組合員勘定」貸越極度額の設定について
- 議案第六号 令和五営農年度 農業資材価格の情勢について
- 議案第七号 令和五年度 営農計画書策定に伴う簡易貸借対照表作成基準等について
- 議案第八号 営農貯金要領の一部改正について
- 議案第九号 令和四年度 経営所得安定対策に係る仮渡金実施要領について
- 議案第十号 理事に対する資金貸付について

議案第十一号 不動産担保評価における農地単価の設定について

議案第一二号 サルモネラ症損害補填規程に基づく損害補填について

議案第一三号 農業生産コスト高騰に基づく損害補填について

議案第一四号 仮決算における期末見通しの変更について

議案第一五号 出資金の譲渡承認について

議案第一六号 年末手当の支給について

報告事項

- 一、農作物・生乳生産状況および組合員勘定集計（十一月十五日現在）について
- 二、令和四年度乳質自主規制金の用途について
- 三、中小酪農経営等生産基盤強化対策事業に係る補助金交付決定について
- 四、コンプライアンス事故報告について
- 五、内部監査報告について
- 六、要員計画に基づく採用者の内定について



忠類神社参道にて青年部員が作成したアイスクャンドルを点灯。2022年の幕が開けました。(1月)



酪農部会はウエルカムドリンクとして忠類の飲食店へ牛乳の無償提供を期間限定で行いました。(1月)



ゆり根耕作組合は忠類中学校の「総合的な学習」において、出前授業を行いました。(7月)



令和3年秋蒔き小麦の収穫が行われ、本年より事業にて新たに導入した『レキシオン5400-C83T5』が稼働しました。(7月)



青年部は農薬空容器の回収・分別を行い、本年も多くのフレコンパックが集まりました。(11月)



2022年を ～振り返ってみて～

～今年も様々な事がありました～
写真で一年を振り返ってみました！



直売所ベジタの本年営業を開始。オープンイベントには多くのお客様が来店しました(4月)



幕別町畜産品評会にてファーストブリングアップ牦の『えび30の45』が和牛の部の経産牛最高位を受賞しました。(6月)



忠類どんどこいむら祭りが3年ぶりに開催されました。当日は多くの方が足を運んでいました。(10月)





支出		令和4営農年度実績			令和3-4年度差額			(単位：千円)
項目	年別	R4実績	R3実績	前年比	前年差額	R4計画	進捗	(差異要因)
50	労賃	799,199	792,386	100%	(+6,813)	915,597	87%	
51	肥料費	284,686	279,038	102%	(+5,648)	299,770	95%	
52	種苗費	88,468	92,376	95%	(△3,908)	94,341	94%	
53	農薬費	69,020	70,506	97%	(△1,485)	70,106	98%	
54	飼料費	5,293,945	4,258,998	124%	(+1,034,947)	5,215,318	102%	*飼料価格と規模拡大
	△TMRC	(3,561,356)	(3,089,359)	(115%)	(+471,998)	-	-	*飼料価格高騰
55	養畜費	885,692	761,461	116%	(+124,232)	849,111	104%	*飼養頭数の増
56	素畜費	10,791	14,459	74%	(△3,669)	12,400	87%	
57	生産資材費	129,169	135,748	95%	(△6,580)	135,840	95%	
58	農業共済掛金	208,562	176,288	118%	(+32,274)	213,351	98%	*飼養頭数の増
59	賃料料金	1,383,094	1,251,692	110%	(+131,402)	1,523,155	91%	*出荷乳量の増
61	修理費	326,671	312,599	104%	(+14,072)	288,202	113%	
62	水道光熱費	271,903	232,675	116%	(+39,228)	270,008	101%	*光熱費の高騰
63	営農車両費	294,664	269,831	109%	(+24,833)	310,376	95%	
64	支払利息	56,085	62,693	89%	(△6,609)	65,981	85%	
65	租税公課	127,440	186,467	68%	(△59,026)	154,691	82%	
66	諸負担金	78,624	73,032	107%	(+5,592)	81,556	96%	
67	その他経営費	230,683	196,961	117%	(+33,722)	206,267	112%	
	農業支出	10,538,697	9,167,212	115%	(+1,371,485)	10,706,070	98%	
	△TMRC農業支出	(8,237,264)	(7,507,933)	(110%)	(+729,331)	-	-	
70	農外支出	0	45	0%	(△45)	0	-	
71	家計費	183,907	181,760	101%	(+2,147)	197,414	93%	
80	貯金共済掛金	307,900	320,073	96%	(△12,173)	330,866	93%	
81	借入金返済	838,775	1,036,532	80%	(△197,757)	855,160	98%	
82	資産取得	161,975	330,634	48%	(△168,659)	174,005	93%	
83	その他資産	0	3,946	0%	(△3,946)	0	-	
	支出計	12,031,254	11,040,201	109%	(+991,052)	12,263,515	98%	
	△TMRC農業支出	(9,642,162)	(9,225,070)	(105%)	(+417,092)	-	-	

預り件数	32件	31件	103%	(+1件)	<p>期中にセーフティーネット資金の受入(179,400千円)があったため、これを除く差引は△556,214千円。</p> <p>酪農経営を中心に収支の悪化が顕著であり、先行き不透明な状況も見受けられます。今一度営農計画に基づく適正なグミカン運用について宜しく願いいたします。</p>
預り額	171,070	189,837	90%	(△18,767)	
貸越件数	41件	44件	93%	(△3件)	
貸越額	547,884	418,816	131%	(+129,068)	
差引	△376,814	△228,979		(△147,835)	

令和4営農年度 十一月クミカン実績【JA全体】

収入		令和4営農年度実績			令和3-4年度差額			(単位：千円)
項目	年別	R4実績	R3実績	前年比	前年差額	R4計画	進捗	(差異要因)
01	麦	15,017	20,188	74%	(△5,171)	16,600	90%	※反収減
02	豆類・雑穀	26,025	32,008	81%	(△5,983)	50,146	52%	*精算時期 (大豆)
03	馬鈴薯	78,582	84,374	93%	(△5,792)	69,539	113%	*精算時期 (加工)
04	てん菜	58,081	44,418	130%	(+13,663)	47,080	123%	※作付面積の増
05	青果・そ菜	90,939	98,426	92%	(△7,487)	234,771	39%	
06	その他農産物	28,812	59,712	48%	(△30,901)	73,247	39%	
07	過年度産農産物	135,970	129,677	104%	(+6,293)	152,650	89%	
農産収入		433,425	468,803	92%	(△35,378)	644,033	67%	
10	生乳	6,401,453	5,837,444	109%	(+564,008)	6,982,436	92%	*出荷乳量の増
11	乳用牛	469,117	634,583	73%	(△165,466)	636,525	74%	*市場価格の急落
12	肉用牛	153,963	178,095	86%	(△24,132)	203,500	76%	
13	TMR受入飼料	2,215,053	1,699,176	130%	(+515,877)	2,200,000	101%	*飼料価格高騰 飼養頭数増
14	鶏・卵	0	0	0%	(+0)	0	-	
15	その他畜産	988	527	187%	(+461)	50	1975%	
畜産収入		9,240,574	8,349,826	111%	(+890,747)	10,022,511	92%	
△TMR受入飼料		(7,025,520)	(6,650,650)	(106%)	(+374,870)	(7,822,511)	(90%)	
20	受入共済金	264,442	282,350	93%	(△17,908)	248,000	107%	
21	受入補助金奨励金	293,542	285,941	102%	(+7,601)	255,274	115%	*補填金 (配合) 他
22	受入賃貸料	73,786	56,482	130%	(+17,304)	80,038	92%	
23	農業雑収入	298,881	215,944	138%	(+82,937)	152,962	195%	*補填金 (生乳)
農業収入		10,604,650	9,659,347	110%	(+945,303)	11,402,818	93%	
△TMR受入飼料		(8,389,596)	(7,960,171)	(105%)	(+429,426)	(9,202,818)	(91%)	
30	農外収入	2,562	26	9711%	(+2,536)	1,000	256%	
40	資金借入	293,266	228,610	128%	(+64,656)	234,120	125%	*SN資金実行
41	資金受入	728,688	898,361	81%	(△169,674)	561,010	130%	
42	その他負債・資本	25,274	22,062	114%	(+3,212)	14,480	175%	
収入 計		11,654,440	10,808,407	108%	(+846,033)	12,213,428	95%	
△TMR受入飼料		(9,439,387)	(9,109,230)	(104%)	(+330,157)	(10,013,428)	(94%)	
生乳生産量		63,237t	57,645t	110%	(+5,592t)	69,290t	91%	*規模拡大
(組勘取引)		(61,622t)	(56,403t)	(109%)	(+5,219t)	(67,738t)	(91%)	*飼養頭数の増
乳代単価		103.9円	103.5円	100%	0.4円	103.1円	101%	
(控除後)		94.8円	94.7円	(100%)	0.2円			



② 組勘指標値ツール

組勘分析表

【経営総体の面積当たり収支の内訳】

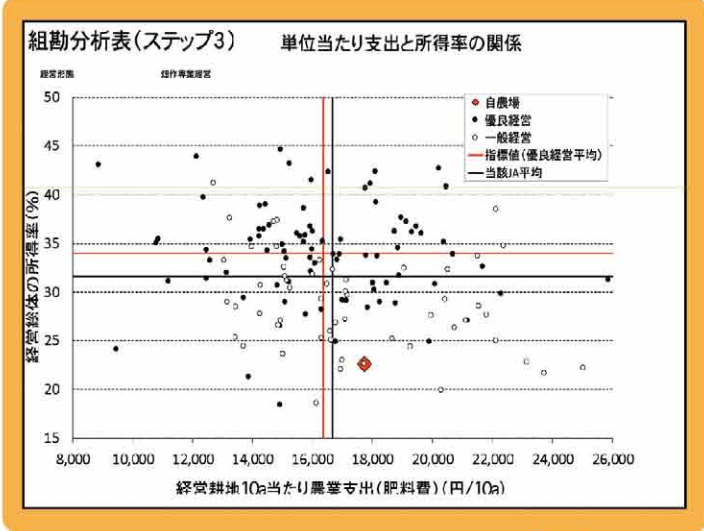
経営耕地10a当りの農業収入	農場実績		指標値		農場の位置(指標値比較)		
	値	構成比	値	構成比	低	やや低	平均
01-07 農産物販売収入 計	76,439	(65)	83,527	(69)			★
01-04 うち畑作物販売収入	36,701	-	44,509	-	★		
01 麦類	21,104	-	18,670	-			★
02 豆類・雑穀	43,029	-	62,297	-		★	
03 馬鈴薯	-	-	69,993	-			
04 てん菜	56,661	-	62,086	-	★		
05 青果・蔬菜	138,854	-	186,729	-	★		
06 その他農産物	-	-	201	-			★
07 過年度農産物	14,685	-	16,981	-			★
農業収入 計	115,755	(100)	118,048	(100)			★

経営耕地10a当りの農業支出	農場実績		指標値		農場の位置(指標値比較)		
	値	構成比	値	構成比	低	やや低	平均
50 労賃	10,579	(9)	14,112	(12)			★
うち雇用労賃	-	-	1,179	(1)			★
うち専従給	10,579	(9)	12,933	(11)			★
51 肥料費	17,499	(15)	14,700	(12)			★
52 種苗費	8,547	(7)	7,470	(6)			★
53 農薬費	13,739	(12)	10,242	(9)			★
57 生産資材費	3,231	(3)	2,192	(2)			★
58 農業共済掛金	2,334	(2)	1,983	(2)			★
59 賃料料金	20,364	(18)	14,465	(13)			★
61 修理費	2,061	(2)	3,191	(3)	★		
62 水道光熱費	688	(1)	412	(0)			★
63 営農車種費	5,701	(5)	5,123	(5)			★
8101 交付金仮渡返済	6,558	(6)	5,595	(4)			★
農業支出(専給除く)計	85,569	(74)	71,640	(61)			★

【組勘分析表】

- 分析対象経営の実績(農場実績)と地域の優良経営平均値を比較表示します
- 地域平均や任意のグループ平均との比較を表示することもできます
- **対象経営**
畑作専業経営、畑作野菜複合経営、酪農専業経営、畑作酪農複合経営、畑作黒毛繁殖複合経営

ラクラク比較で
問題発見!



【散布図】

- 指定した摘要項目について、地域内での高低の位置を示すことができます(特に、改善を働きたい事項で活用します)



- 「組勘指標値ツール」は、分析対象者の実績値と経営指標値との比較により、①収益性と資金繰り、②収入、③支出、④資金運用の問題点を明確にすることで、経営計画策定時に活用するものです。
- なお、組勘口座を経由しない取引は把握できないことに留意してください。

経営管理支援システムについて

連絡先 忠類農業協同組合 営農部経営課

十勝農協連では、道総研十勝農業試験場、帯広畜産大学と共同で経営管理支援システムを開発し、十勝管内JAに実装し、経営相談の場面での活用に向けて取組みを進めています。

【経営管理支援システムを構成する2つのツール】

① 組勘見える化ツール

② 組勘指標値ツール

① 組勘見える化ツール

こうしたデータを

貸方項目	計画 (千円)	累計実績 (円)	計画対比 (%)	借方項目	計画 (千円)	累計実績 (円)	計画対比 (%)
01 米	2,840	1,583,200	55.7	50 労 賃	4,400	4,189,000	95.2
02 豆 類 ・ 雑 穀	1,990	1,042,800	52.4	51 肥 料 費	8,000	9,973,100	124.7
03 氏 鈴 し ょ	12,150	13,133,000	108.1	52 種 苗 費	5,400	6,217,360	115.1
04 て ん 菜	3,480	3,372,000	96.9	53 農 薬 費	4,100	5,335,970	130.1
05 青 果 ・ そ 菜	15,400	14,839,200	96.4	54 飼 料 費	0	0	0
06 その他農産物	0	0	0	55 養 畜 費	0	0	0
07 過 年 産 農 産 物	800	367,200	45.9	56 畜 産 費	0	0	0
農 産 収 入 計	36,660	34,337,400	93.7	57 生 産 資 材 費	600	478,760	79.8
21 受入補助金・奨励金	7,200	5,192,830	72.1	67 その他経営費	610	554,970	91.0
22 受入貸付料	30	96,274	320.9	農 業 支 出 計	34,730	37,644,290	108.4
23 農産物収入	700	829,000	118.4	70 農 外 支 出	0	0	0
農 産 収 入 計	45,530	43,902,904	96.4	71 家 計 費	5,000	6,285,400	125.7
30 農 外 収 入	0	0	0	農 業 ・ 農 外 支 出 計	39,730	43,929,690	110.6
農 業 ・ 農 外 収 入 計	45,530	43,902,904	96.4	80 貯 金 ・ 長 期 共 済 掛 金	2,000	1,770,000	88.5
40 貸 付 金 借 入	500	3,006,496	601.3	81 借 入 金 返 済	3,000	3,208,600	107.0
41 貸 付 金 受 入	1,500	5,100,890	340.1	82 資 産 取 得 費	2,800	3,102,000	110.8
42 その他負債・資本	0	0	0	83 その他借入	0	0	0
貸 方 合 計	47,530	52,010,290	109.4	借 方 合 計	47,530	52,010,290	109.4



- 「組勘見える化ツール」は、①組勘上の資金収支を、農業収支、資金返済、生活資金、投資・貯金に分けて、②計画と比較することで問題点を鮮明にするものです。
- どのような経営形態にも利用できます。



厳寒期の初乳給与を考える

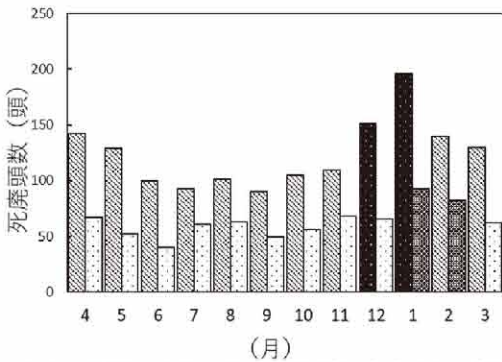


図1 十勝南部の月別子牛の死産頭数 (腸炎 [左] と肺炎 [右])
出典：十勝NOSAI南部支所 (平成27年から平成30年)

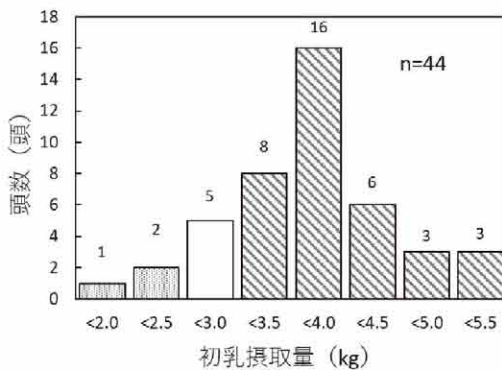


図2 初乳飽和給与時の摂取量の分布
出典：根室農業試験場

比重で判断する場合 (基準測定温度20℃)	1.056 以上 ^{*1}
Brix値で判断する場合	22 %以上 ^{*2}

出典：※1,※2 根室農業改良普及センター2013



写真1 初乳を冷凍保存ジップロック等に入れ、保存日、産次、比重等を書いて冷凍保存!

1 初乳給与までの時間と量

子牛は母牛の抗体を含んだ初乳を飲むことで免疫を獲得します。また初乳は、常乳と比較して脂肪や蛋白が高く、小腸絨毛組織の発達に寄与する機能性成分(インスリン様成長因子など)が多く含まれています。したがって、初乳を摂取することは、子牛にとって大切な栄養源としての意味もありません。よってエネルギー消費が早い厳寒期は、いち早く初乳から子牛の栄養源を確保する必要があります。

子牛が初乳から抗体を吸収できる能力は生後6時間以内ではほぼ変化はありません。しかし12時間後から急速に低下していきます、24時間後ではほぼ消失することが分かっています。そのため、子牛が生ま

れてから6時間以内(遅くても12時間以内)に初乳を飲ませましょう。一方、哺乳欲のない子牛の場合には胃の中に羊水が残っている可能性があります。その状態で初乳を与えると初乳が羊水と混ざり合いレンニンと呼ばれる酵素がうまく働かず、十分な抗体量を吸収することができなくなります。身体を擦るなどして哺乳欲を示すのを待つてから給与しましょう。もし、12時間以上経過しても哺乳欲を示さない場合は、ストマックチューブによる強制給与を考えましょう。

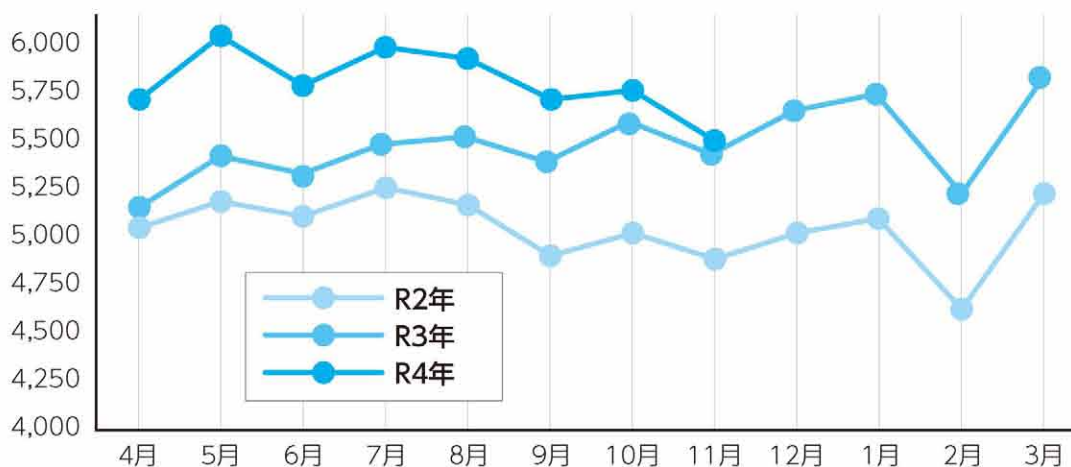
初乳をお腹いっぱい飲ませることも重要です。ほとんどの子牛は自力で3リットル以上の初乳を飲むことができます。健康な経産牛の初乳は初産牛に比べ抗体量が多く良質だといわれています。しかし、初乳の抗体含量には個体差があるので、品質を把握することは大切です。色が濃い初乳は抗体含量も多いと考えがちですが、色で判別することはできません。比重計や糖度計(Brix値)を使用することで判断できますので表1を参考に活用してみてください。

また、良質な初乳が確保できない場合に備え、凍結保存するの良いでしょう(写真1)。

良質な初乳及び凍結初乳が不足または確保できない時などに初乳製剤を使用することがあります。初乳製剤には安定した量の抗体が含まれていますが、栄養や機能性成分の含量は異なりますので、使用する場合はパッケージや説明書を確認し、用法・用量を守って使用しましょう。

2 初乳の品質

生乳生産状況表



ホクレン十勝家畜市場だより



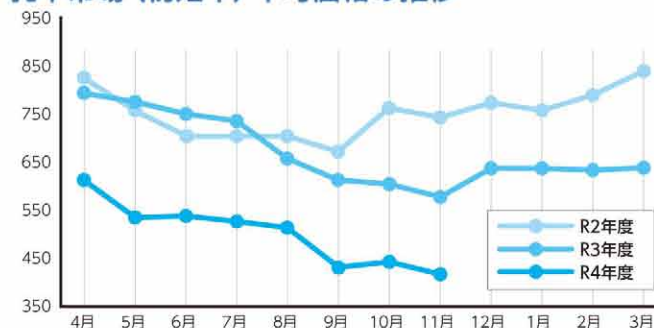
乳牛

- 売買頭数: 821頭 (成立80.4%)
- 平均価格 (税込): 416千円 (先月比↓25、前年比↓161)

相場予想

先月の平均価格は、出回り頭数が年間で最も多い時期の中、生乳生産環境は先行きが見通せず、引き合いは弱含みで推移した。今月は、例年であれば春産みが一部出回り始め引き合いが強まる時期となるものの、来年度の生乳減産と年明けの飼料価格等の不安要素が大きいため需要増加は見通し難しく、相場は弱含みであると予想される。

乳牛市場〈初妊牛〉平均価格の推移



黒毛和種・F1

結果速報

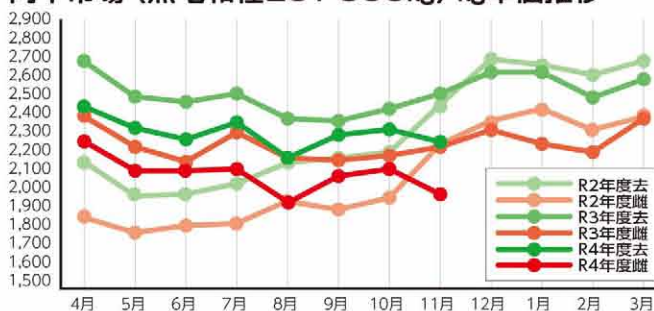
● 売買頭数

- 黒毛和種去勢 1,002頭 (成立90.3%)
- 乳用交雑種去勢 1,043頭 (成立96.9%)
- 黒毛和種雌 795頭 (成立90.1%)
- 乳用交雑種雌 1,308頭 (成立95.0%)

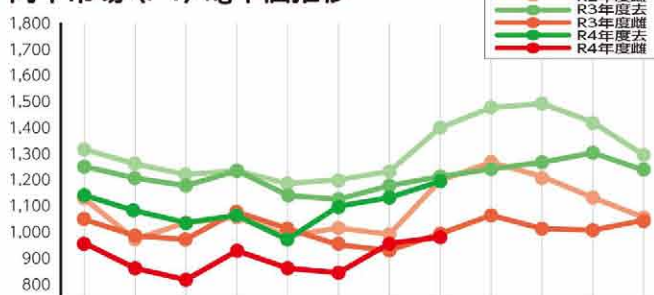
● kg単価

- 黒毛和種去勢 2,242円 (先月比 ↓ 70)
- 乳用交雑種去勢 1,197円 (先月比 ↑ 65)
- 黒毛和種雌 1,962円 (先月比 ↓ 140)
- 乳用交雑種雌 985円 (先月比 ↑ 31)

肉牛市場〈黒毛和種251-300kg〉kg単価推移



肉牛市場〈F1〉kg単価推移





年末・年始のご連絡



年末・年始の業務体制については、下記の通りとなっております。ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。
なお、12月31日～翌1月3日は本所事務所についても、完全閉所とさせていただきますのでご理解をお願いします。

	12/27 火曜日	12/28 水曜日	12/29 木曜日	12/30 金曜日	12/31 土曜日	1/1 日曜日	1/2 月曜日	1/3 火曜日	1/4 水曜日	1/5 木曜日	1/6 金曜日
事務所	平常	平常	平常	平常	休業 閉庁	休業 閉庁	休業 閉庁	休業 閉庁	休業	休業	平常
金融窓口	平常	平常	組 勘 最終日	貯金 為替	休業	休業	休業	休業	平常	平常	平常
A T M	8:45~ 18:00	8:45~ 18:00	8:45~ 18:00	8:45~ 18:00	休業	休業	休業	休業	8:45~ 18:00	8:45~ 18:00	8:45~ 18:00
生産資材	平常	平常	平常	平常	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常
給油所	平常	平常	平常	平常	休業	休業	休業	休業	平常	平常	平常
整備工場	平常	平常	平常	平常	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常
生乳 事業所	平常	平常	平常	平常	休業	休業	抗生物質 のみ 11:00まで	休業	平常	平常	平常

☆ただし、牛乳検査・バルク故障の対応については別途詳細をご連絡いたします。

▼12月31日～1月3日は、他の提携金融機関（ゆうちょ銀行、セブン銀行等）にて、ATMの利用ができます。

▼年末年始休業期間中の自動車事故対応について

JAの休業期間中に自動車事故を起こしてしまった場合には、下記手順にて対応していただく必要がありますので、お知らせ申し上げます。

① **119番** ※負傷者等がいて、救急車が必要なとき～

② **110番** ※事故現場の保存と、状況確認が必要になります～ [車検証・自賠責証書・運転免許証を用意!]

③ **共済証書を用意の上、「事故受付センター」に連絡**

ジ コ は ク ミ ア イ

0120-258931 (フリーダイヤル)

※事故発生時の初動対応（事故受付・レッカー車の手配・レンタカー等）を24時間対応！

※その後の対応については、事故受付センターからJA事故処理担当者に引き継がれ、対応いたします。

フリーダイヤル

0120-258931

※電話料金は無料です。
 ※携帯電話・PHSからもつながります。